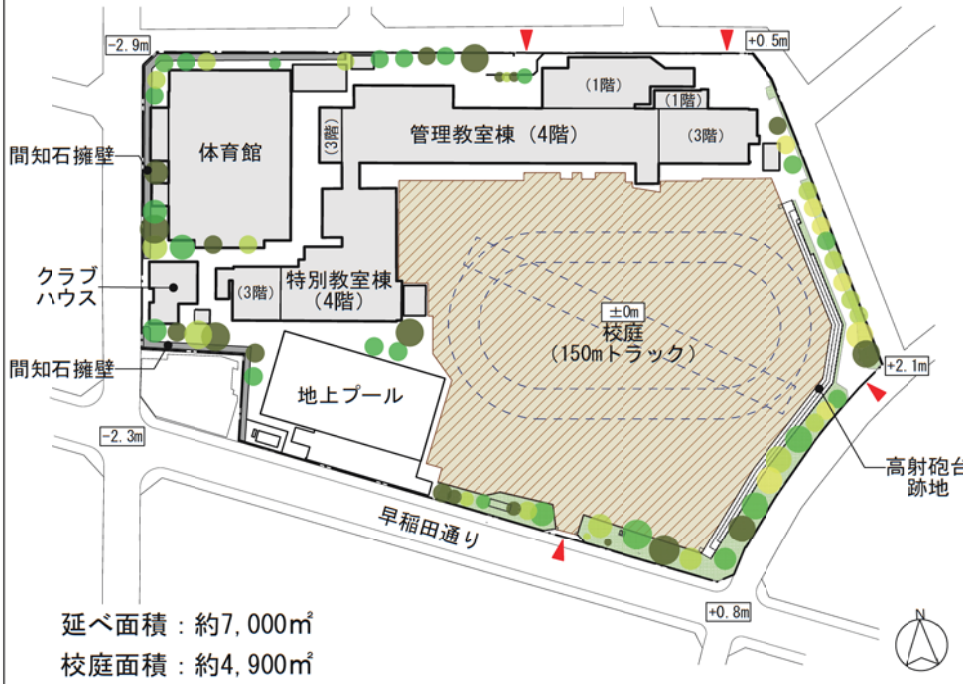
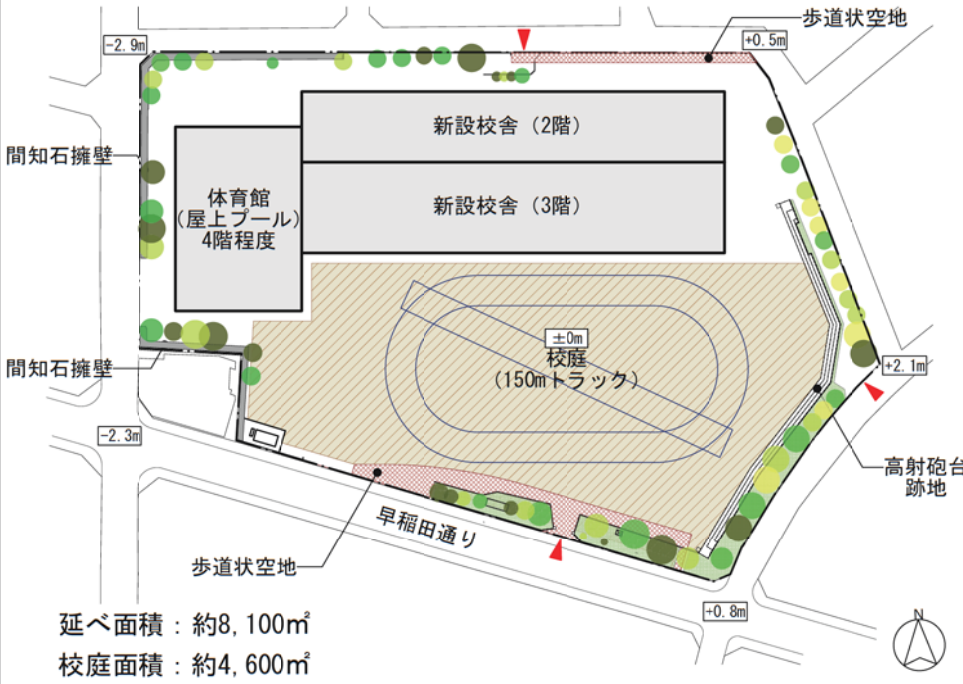





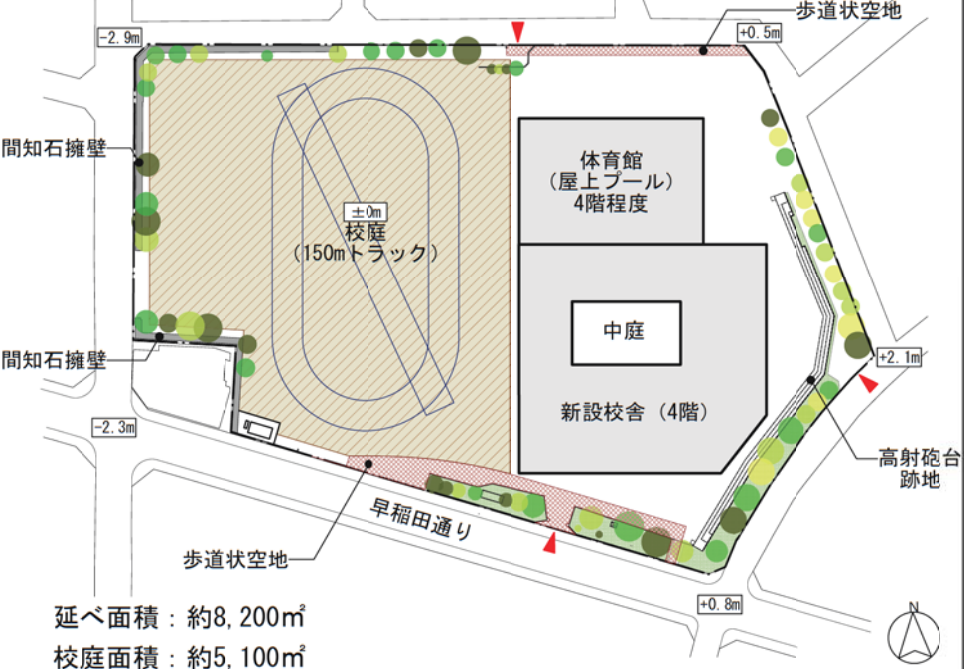


既存	A (校庭が南側配置の場合)	B (校庭が東側配置の場合)
 <p>延べ面積：約7,000㎡ 校庭面積：約4,900㎡</p>	 <p>延べ面積：約8,100㎡ 校庭面積：約4,600㎡</p>	 <p>延べ面積：約8,300㎡ 校庭面積：約5,100㎡</p>
<ul style="list-style-type: none"> 校庭内に150mトラックを配置する場合、余裕がありません。 午後は校庭の一部に日影が生じます。 北側の近隣へ日影の影響が大きく、日影の許可を受けて建築しています。 <p>※現在、この校舎配置と同じものは日影規制により建築できません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 日影規制により、既存校舎よりも高さの低い校舎となり、校庭側（南側）に寄せた配置となります。 校庭が狭く、形状が課題となりますが、校庭にはほとんど日影は生じません。 既存校舎と近い校舎・校庭の配置となり、周辺環境の変化はあまりありません。 仮設校舎の規模が大きくなります。（仮設のため、体育館は小規模となります。）また、全体の工事期間も長くなります。 	<ul style="list-style-type: none"> 校庭が広く、使いやすい形状となりますが、午後は校庭の一部に日影が生じます。 校庭が北東側に面し、周辺環境に変化が生じます。 仮設校舎が必要となりますが、給食室など既存校舎の一部は継続利用できる可能性があります。（Aと同様、仮設のため、体育館は小規模となります。）
今後の検討項目		
<p>校庭の位置ごとの校舎配置についてその特徴と課題をまとめました。今後、以下のような項目を踏まえて校舎配置を検討します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 校庭の広さ・形状・日照状況について 教室等の校舎の使いやすさについて 周辺への影響について 仮設校舎の規模・期間について 工事期間について その他 		
凡例・備考		
<ul style="list-style-type: none">  校庭範囲  -2.9m 校庭レベルを±0としたときの周辺道路の高低差  校門想定位置 <p>※延べ面積・校庭面積は概ねの値で、今後の検討により変動します。 ※校庭内のトラックは150mトラック、直線50mとしています。 ※配置図内の樹木は既存樹木を示しています。</p>		
C (校庭が北側配置の場合)	D (校庭が西側配置の場合)	
 <p>延べ面積：約8,200㎡ 校庭面積：約4,900㎡</p>	 <p>延べ面積：約8,200㎡ 校庭面積：約5,100㎡</p>	
<ul style="list-style-type: none"> 校庭は既存と同程度の大きさとなりますが、午前中及び午後は校庭の一部に日影が生じます。また冬季は終日日影となる部分があります。 校庭が北西側に面し、周辺環境に変化が生じます。 仮設校舎が不要となり、運動場の不足を体育館で補えるなど、工事の影響が最小となります。また、全体の工事期間が短くなります。 	<ul style="list-style-type: none"> 校庭が広く、使いやすい形状となりますが、午前中は校庭の一部に日影が生じます。 校庭が北西側に面し、周辺環境に変化が生じます。 仮設校舎が不要となるなど、Cと同様ですが、体育館が二期工事となる可能性があり、運動場の確保に課題が残ります。 	